

平成30年6月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年6月分について、輸出は「電気回路等の機器」、「通信機」などが減少したもの、「自動車の部分品」、「自動車用等の電気機器」、「ポンプ及び遠心分離機」などが増加したことから対前年同月比27.5%の増加となった。また、輸入は「医薬品」「事務用機器」などが減少したものの、「有機化合物」、「半導体等電子部品」、「原動機」などが増加したことから、同9.5%の増加となった。

その結果、差引額は160億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	962億円	+27.5%	801億円	+9.5%	160億円	+614.6%
	14カ月連続の増加		12カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	100億円	+156.5%	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	53億円	+356.2%	
		(2) 自動車用等の電気機器	30億円	+94.8%			(2) 半導体等電子部品	70億円	+21.3%	
		(3) ポンプ及び遠心分離機	19億円	+109.1%			(3) 原動機	81億円	+13.2%	
	減少品目	(1) 電気回路等の機器	45億円	▲6.4%		減少品目	(1) 医薬品	97億円	▲37.2%	
		(2) 通信機	4億円	▲24.4%			(2) 事務用機器	14億円	▲27.3%	
		(3) 記録媒体（含記録済）	2億円	▲38.1%			(3) 電気回路等の機器	15億円	▲20.5%	
	主要地域 増減	EU、アジア、アメリカが増加				主要地域 増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少			

（参考）ドルレートは、109.86円（前年同月比0.9%、1.05円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。